2024 年度版　ver. 6

幌延中学校区義務教育学校リーフレット

幌延町では、幌延小学校と幌延中学校を施設一体型小中一貫校である義務教育学校としての開校を目指しており、今年度末までに「基本設計」の完成を目指しています。これまで地域住民や保護者の皆様、検討部会や開校準備委員会、議会や教育委員会等から御意見やアイデアを多数いただき、「基本設計」がほぼ完成しましたので、その概要をお知らせします。

皆様から意見等を
お待ちしております！！

1 基本設計テーマ

～ 幌延の未来を担う子どもを育む持続可能な学校 ～

幌延町は国立公園であるサロベツ原野を有し、その「大平原」の中で学びや遊びを通して成長してきた子どもたちが、いつもまでもふるさとに誇りを持ち続け、いつくしむ豊かなこころと未来を創造する力を育む学校づくりを目指します。

2 実施方針

自律
「生き抜く力を育成する仕掛け」
自ら進んで学習に取り組む事が可能な学べる居場所を校内にちりばめ、ICTを活用できる設備環境を構築し、学びへの意欲が高まる学習環境の仕掛けや場をつくります。

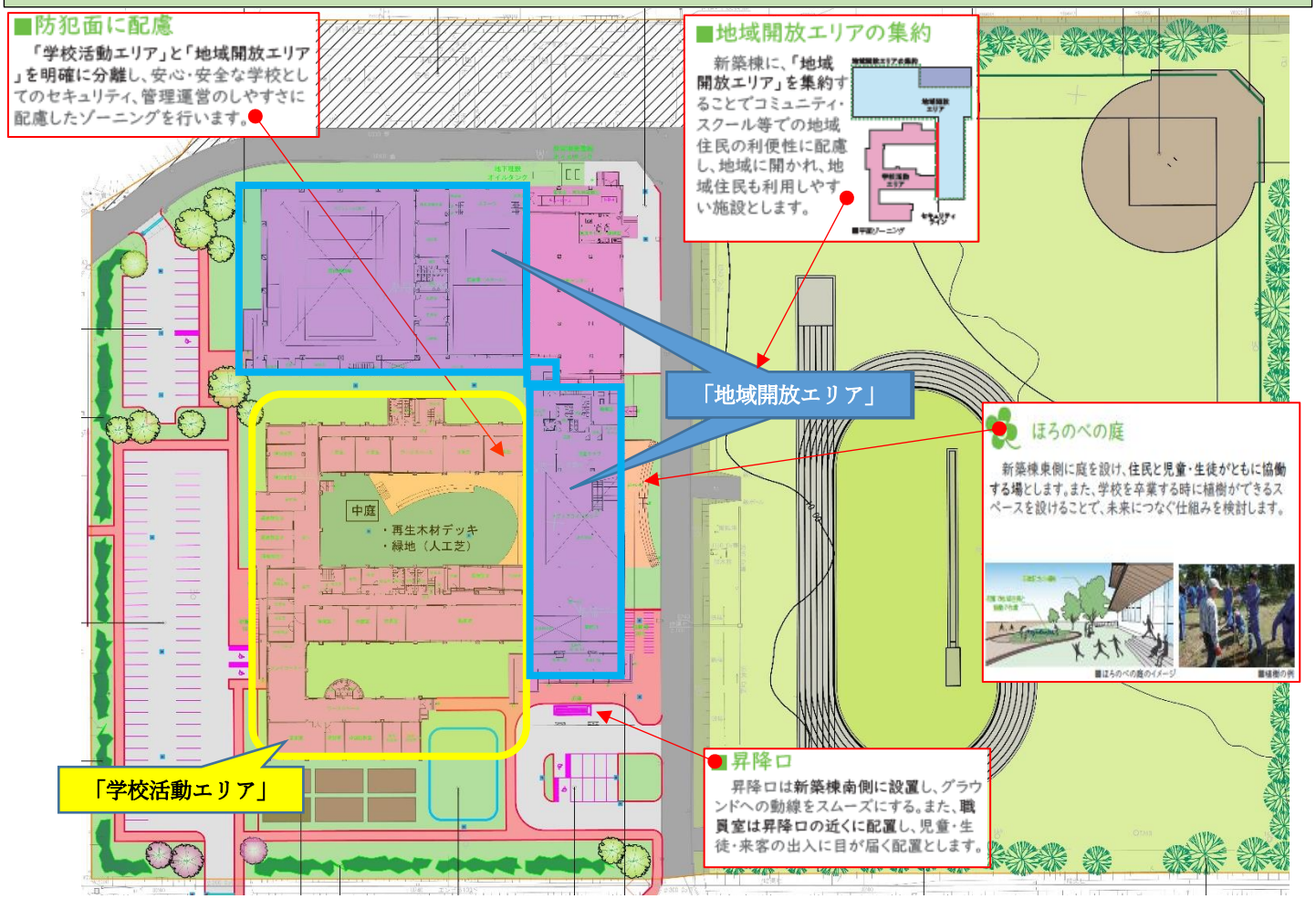
尊重
「多様な個性やニーズに対応」
学年、習熟度、身体等の違いを認め違いを大切にし、多様な対話の場を提供することで新たな気づきと挑戦する心を育む場をつくります。

協働
「“幌延”に対する誇りと愛いを育む」
地域と連携した教育環境づくりを進め、幌延で過ごすかけがえのない記憶として刻まれる学びの場をつくります。

3 外構図

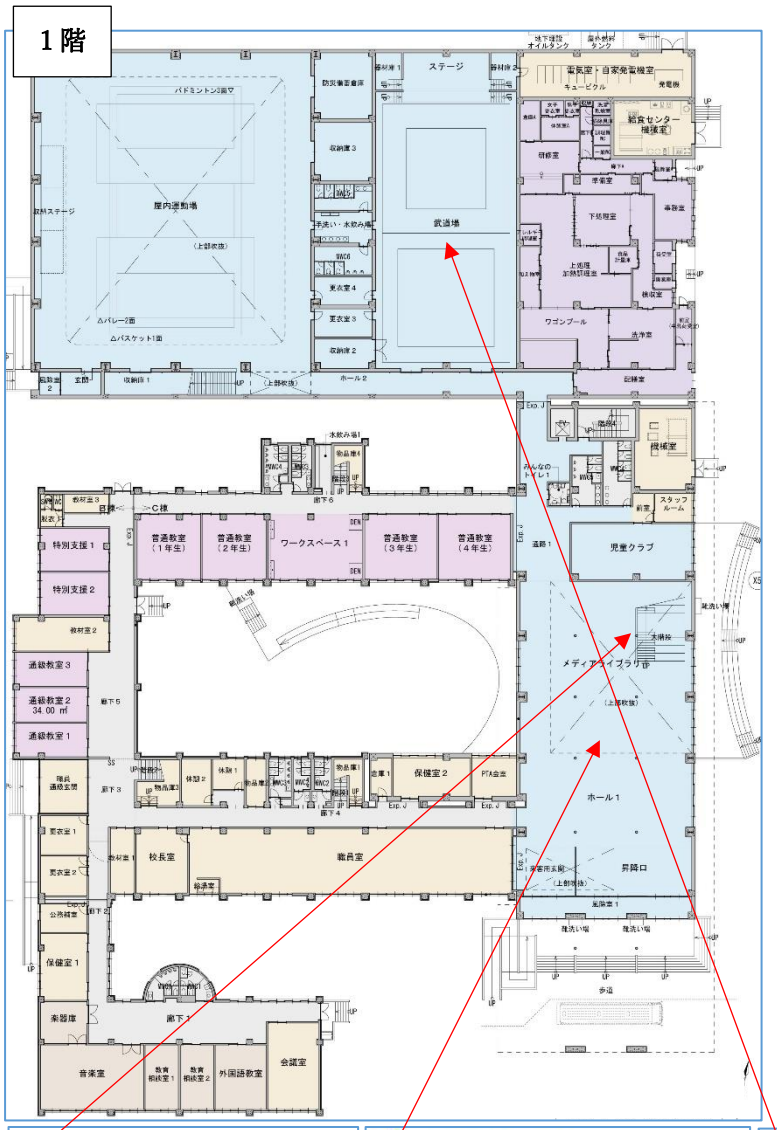
新しい学校は、地域が支え、見守り、子どもたちを育む学校とするために、長年親しまれた既存校舎を活かし、子どもたちが地域の人たちと親密に交流できる場とします。

リーフレット ver.5からの変更点は、体育館の大きさを若干縮小したことや、児童生徒用の登下校用の通路の安全性の向上、駐車場の二分化、中庭の構造を具体化したことなどです。



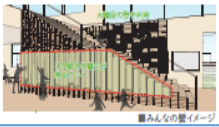
4 平面図(1階・2階)

回遊でき新築棟を中心につながる学校。リーフレット ver.5からの変更点は、１階では武道場と給食センターの配置、第１学年から４学年の教室や特別支援教室、特別教室等の配置、職員室の拡充、中庭や児童生徒玄関の構造を具体化するなどしました。２階では、理科室を２つ設けたことなどのほか、教室の配置換えを行いました。



みんなの壁

校舎建設時に大階段の壁に木レンガをはめる木枠を設置します。卒業記念として木レンガに名前を刻み卒業生が埋めていきます。



■みんなの壁イメージ

■木レンガのイメージ

メディアライブラリー

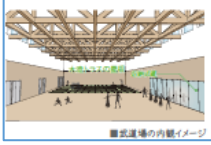
皆が自由に利用できるメディアライブラリーは学校の中心に配置し、座ることができ、交流を促し、象徴的となる大階段を設けます。またメディアライブラリーを中心に幌延みらい学室を設置して、地域住民との交流が図れる場とします。1階、2階を吹抜けとして、縦のつながりを感じられる空間とします。

■メディアライブラリーの内観イメージ

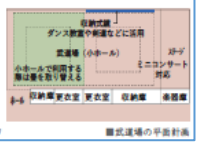
■交流を促す大階段の例

武道場

武道場は、小ホールとしても活用することで、地域のスポーツ少年団の剣道やダンス教室、ステージを設置してミニコンサートなど、地域のスポーツや文化の振興につながるものとします。屋内運動場も同様に考え、出入口も専用に設けます



■武道場の内観イメージ



■武道場の平面計画

校舎全体を木質化

各教室や自然に触れる部分の内装材や家具等は積極的に木質化します。外壁は、庇などで直接風雨にさらされないような場所について、木外装材の採用を検討します。
木材は道内産の木材を使用します。

■庇軒裏木質化のイメージ

■教室内 床・壁の木質化の例

5 来年度に向けて

今年度中に基本設計が完成し、来年度はハード面において実施設計のフェーズに入ります。また、ソフト面では教職員による教育課程の編成、学校行事の検討、校歌・校章や制服の検討などを進めていきます。町民の皆様には「校名」等について公募しますので、改めて御理解と御協力をお願いします。

最後に、幌延町教育委員会として、今後、将来の子どもたちのための学校づくりに向け、さらに幌延町の皆様の御意見やアイデアを取り入れた学校づくりに努めるとともに、地域住民の皆様が共に歩む当事者として、より良い未来を築いていく力となっていただきますことを強く祈念しています。

お問い合わせ先

幌延町教育委員会 総務学校係
〒098-3207　天塩郡幌延町宮園町１番地１
Tel：01632-5-1117／Fax：01632-5-1749／告知端末機： 5-8817
E-mail：sogaku@town.horonobe.lg.jp

2025.02.18 作成・発行